

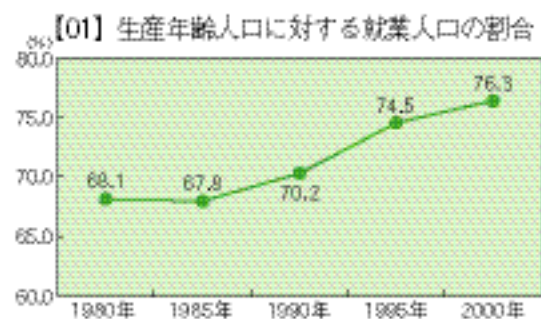
平成19年4月からスタートする第5次総合計画の“留萌を彩る6つの基本政策”をご紹介します

基本政策の成果を測るための指標と達成目標

目標値は、基本構想最終年度の2016（H28）年度

指標名	基準値	目標値
【01】生産年齢人口に対する就業人口の割合（％）	76.3	→

国勢調査（5年ごとの10月1日に実施）から「有業者数÷生産年齢人口（15～64歳）×100」として算出。基準値は、2000（H12）年の数値。

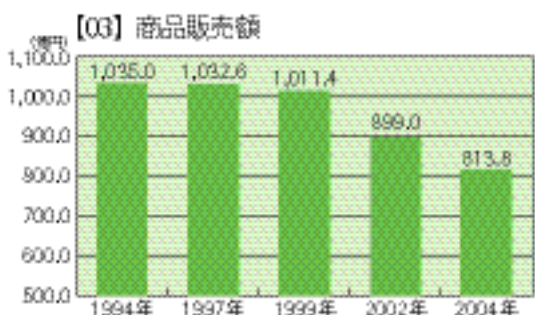


指標名	基準値	目標値
【02】製造品等出荷額（億円）	235.4	→

工業統計調査の製造品等出荷額。基準値は、2001（H13）～2005（H17）年の実績の平均値。

指標名	基準値	目標値
【03】商品販売額（億円）	813.8	→

商業統計調査の商品販売額。基準値は、2004（H16）年の実績値。



指標名	基準値	目標値
【04】10年以上留萌に住んでいる市民の割合（％）	69.5	→

市役所市民課「住民基本台帳」から、10月1日現在で「10年以上継続して留萌に住んでいる市民の割合」を算出。基準値は、2006（H18）年の数値。今後は毎年10月1日に算出し比較する。

やる気を応援し、活気あふれる都市空間と新しい地域経済をつくる

右肩上がりの経済が安定成長の時代が変わり、特に北海道は公共依存が強かった地域でもあり、地域経済の自立が求められています。

市民が安定した生活基盤を築くためにも、地域経済の活性化や雇用の創出は不可欠です。この『やる気と活気』の政策では、まちの機能を見つめなおし、持続可能な都市空間（コンパクトシティ）を作ること、ま

た、明日へ向かう「やる気」を応援し、留萌に適した産業の創出・振興と雇用の増加を生み出し、経済の活性化を図り、経済的に安定した生活や現役世代の人口の定着を願っています。そのため、地域産業の育成を

目指し、起業や企業化などを支援し、留萌らしい産業を創り出し、雇用を生み出すことで、地域経済の活性化と経済的に安定した生活の確立を目指します。

第1回

“やる気と活気”の政策
るもいの未来図
[第5次留萌市総合計画]



“やる気と活気”の政策のシンボルである“生（もえぎ色）”には、市民や企業が生き生きと活動、活躍するという意味が込められています。

全編は、留萌市ホームページで公開しています
<http://www.e-rumoi.jp>